

報道関係各位

2025 年 12 月 18 日

タカラベルモント独自の技術をベースにした 「毛髪バイオマーカーの可視化」と 「育毛などへの応用を見据えた毛根部への新たな浸透法」を、 国内の化粧品学術大会で発表

タカラベルモント株式会社(本社:大阪市中央区、代表取締役会長兼社長:吉川 秀隆)の開発本部 化粧品研究開発部は、2025 年 12 月 8 日(月)～10 日(水)にパシフィコ横浜(神奈川県横浜市)で開催された「第 3 回日本化粧品技術者会 学術大会」において、毛髪研究に関する 口頭発表 1 題、ポスターセッション 1 題の計 2 題を発表しました。今回の発表では、当社独自の「イメージング技術」と毛髪浸透技術「ヘアメデュラケア」を応用した研究成果を紹介し、国内の化粧品技術者から大きな注目を集めました。



※左から、化粧品研究開発部 荒井 佑香(第二研究所)、萬成 哲也(基礎研究所)

【発表内容】 ○当日発表者

■口頭発表

毛髪から“美と健康”を可視化する基盤技術の構築— ホルモン局在の可視化・数値化を通じて —

○萬成 哲也, 山下 萌絵, 金子 聖

■ポスターセッション

頭皮からだけではなく毛髪内部から育毛する時代へ～毛髪内部を経由した育毛成分の新規浸透方法の検討～

○荒井 佑香, 本村 友希, 吉田 直史, 萬成 哲也, 原田 佳祐

《口頭発表》

■毛髪から“美と健康”を可視化する基盤技術の構築— ホルモン局在の可視化・数値化を通じて —

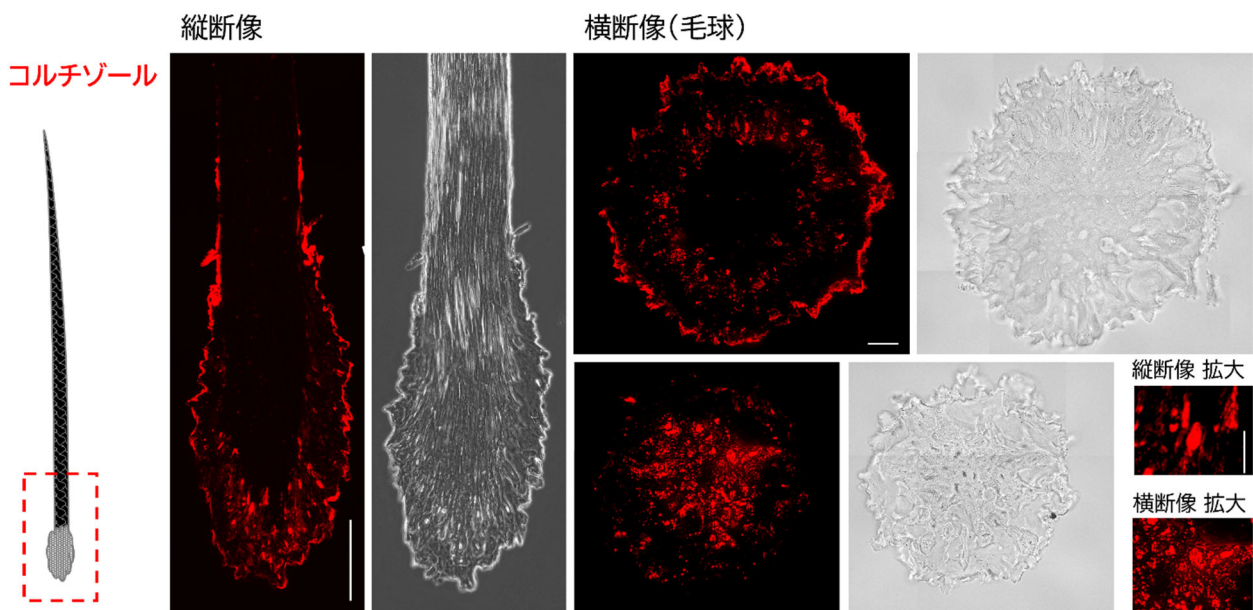
【要点】

●独自の「縦×横切り」のイメージング技術で、自然に抜けた毛髪の毛球部を用いて、バイオマーカー検出に成功
これまで毛髪中に存在する神経伝達物質・ホルモン・アレルギー関連物質などのバイオマーカーの解析は、「どれくらい含まれているか」「おおよそどこに存在するか」といった量的情報の把握が中心だった。

しかし今回、当社独自の「縦×横切り」イメージング技術により、自然に抜け落ちた毛髪の毛球部を対象として、多様なバイオマーカーが“どこで・どのような形で存在しているか”を高精細に可視化し、その分布をスコアとして定量評価することにも成功。

このような空間把握力に優れた本技術は、それ自体で新たな評価軸となるだけでなく、既存の量的アプローチと組み合わせることで、毛髪バイオマーカーの「美」と「健康」領域における新しい役割と可能性をさらに広げることが期待できる。

図1：「縦×横」でみる分布（コルチゾールの場合）



【コメント】 萬成 哲也(マンナリ テツヤ)

開発本部 化粧品研究開発部 基礎研究所 基礎研究担当スペシャリスト

毛髪バイオマーカーは他分野では活用が進む一方で、美容・健康分野での応用はまだ限定的です。毛髪は体内情報を蓄える「蓄積媒体」とであると同時に、ホルモンなどの作用を受ける「標的組織」でもあり、さらにハリ・コシやクセといった形状にも関わるため、「どれくらい含まれるか」だけでは評価しきれないことが、その一因と考えられます。

本研究では、イメージング技術により毛髪内部に「どの成分が・どこに・どんな形で」存在するかを可視化し、その空間情報を数値化する基盤を構築しました。今後、この情報を既存の量的指標や臨床データと組み合わせることで、一人ひとりの“内側の状態”と髪のコンディションを結びつけたパーソナライズドなビューティーケアへの展開を目指します。



《ポスターセッション》

■頭皮からだけでなく毛髪内部から育毛する時代へ～毛髪内部を経由した育毛成分の新規浸透方法の検討～

【要点】

●当社独自の高浸透技術「ヘアメデュラケア」を駆使し、頭皮に塗布する方法以外の育毛成分の浸透方法を確立
育毛成分として知られるセファランチン(以下、Cep)を高浸透技術「ヘアメデュラケア(以下、HMC)」により毛髪に浸透させると、HMC で処理した毛先から離れた部位(毛髪中間部や毛根部)においても Cep が存在するということが明らかとなった。さらに中間部や毛根部の毛髪内に存在する Cep の量は、他の毛髪浸透技術を用いた場合よりも、HMC を用いた場合の方が多量ということが分かった。(図1)

Cep はキューティクルを介してではなく毛髪の内部を介して浸透し、毛根最下部まで至っていることも明らかとなった。(図2)

図1：HPLC（高性能液体クロマトグラフィーと呼ばれる分析方法）による非処理部の溶出液中における Cep 検出

溶液A：HMC, 溶液B：他の浸透技術でCepを浸透させた場合

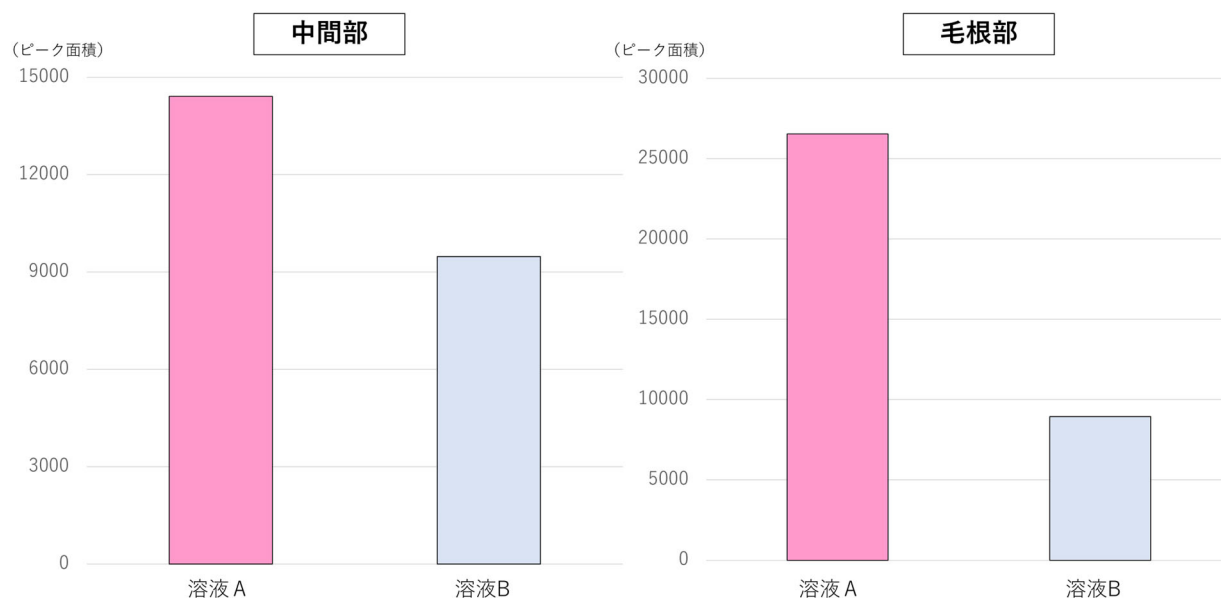
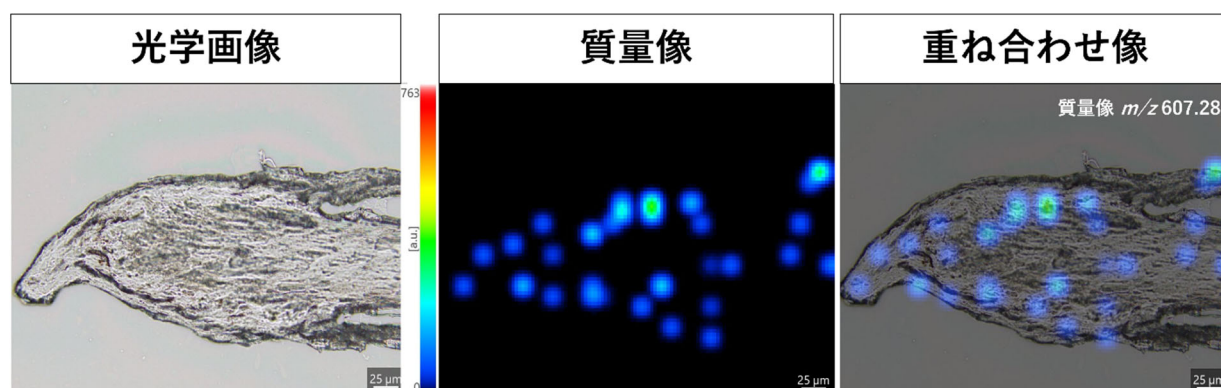


図2：MALDI-MS（マトリックス支援レーザー脱離イオン化質量分析）による毛根部の Cep マッピング技術



【コメント】荒井 佑香(アライ ユカ) 開発本部 化粧品研究開発部 第二研究所
エイジングにまつわる悩みの中で、「薄毛」はその人の活力や自信の低下につながる大きな悩みと捉えています。今回の研究成果を応用した製剤を、従来の頭皮にアプローチする育毛剤と組み合わせることで、毛根部へのより効果的なアプローチが可能になると期待しています。今回発見した技術は、従来とは異なるコンセプトの育毛製剤開発につながる可能性があり、製剤化や塗布条件の最適化とあわせて、実用化を目指し、育毛効果の検証を進めていきます。



< 参考 >

SCCJ(日本化粧品技術者会)について

1947 年、化粧品および関連の科学技術の進歩に貢献すると共に、会員相互の啓発と交流を図るための活動を行い、化粧品産業の発展に寄与することを目的として立ち上がった伝統ある学術団体。

「日本化粧品技術者会 学術大会」の前身「SCCJ 研究討論会」は、1976 年から実施されてきたが、2023 年からは、更なる技術者のレベルアップと技術のグローバルリーダーを目指す次世代の発表の場として本学術大会が新設され、今回で 3 回目となる。また、グローバル化の一環として SCCJ は、国際化粧品技術者会連盟(IFSCC:参加 80 か国、約 16,000 名)へ 1962 年より正式加盟されている。

* 日本化粧品技術者会ホームページより一部引用

< 会社概要 >

商号 : タカラベルmont株式会社

代表者 : 代表取締役会長 兼 社長 吉川 秀隆

所在地 : 大阪本社(本店) 大阪市中央区東心斎橋 2-1-1

東京本社 東京都港区赤坂 7-1-19

創業 : 1921 年 10 月 5 日

資本金 : 3 億円

従業員数 : 1,629 名(2025.03.31 現在)

事業内容 : 理美容・化粧品事業・デンタル・メディカル事業

<https://www.takarabelmont.com/>

公式 SNS: インスタグラム @takarabelmont_japan

タカラベルmontは 2021 年 10 月 5 日に創業 100 周年を迎え、新たにパーパス「美しい人生を、かなえよう。」を制定しました。持続可能な社会を目指し、「美と健康をかなえる」プロフェッショナルとともに、進化し続けます。

【本プレスリリースに関するお問い合わせ】

タカラベルmont株式会社 広報室 担当: 阿部・石川

Tel : 06-7636-0856

E-mail : kouhou@takara-net.com

美しい人生を、かなえよう。

 TAKARA
BELMONT